

令和2年度 学校評価

重点目標	学習に対する姿勢を整え、学力の向上を図るとともに、家庭や地域との連携を踏まえた学校教育活動全般の改善に努め、凜として清々しい個と品格ある校風づくりの確立を目指す。また、職員間の協力体制の在り方を検討し、勤務時間の適正な管理と教職員の適切なメンタルヘルスに努める。 1 家庭や地域から信頼される学校づくり 2 生徒の夢を実現できる学校づくり 3 品格ある校風づくり		
担当	重点目標	具体的方策	留意事項
総務部	(1) 防災教育の推進及び校内避難経路の策定。 (2) P T A 組織の充実を図り地域との連携を推進。	(1) P T A 活動に会員が積極的に関わることのできる活動を実践する。 (2) 防災訓練や、安否確認の体制作りの中で、生徒、保護者、教職員の防災意識を向上させる。	(1) 本部役員との密な連携の中で、P T A 専門委員会の在り方と専門委員会の活性化に取り組む。 (2) 「地震時生徒引き渡しカード」をより効果的に利用できる体制を検討する。
教務部	(1) 校務支援システムによる指導要録の作成。	(1) 校務支援システムにより指導要録の作成を電子化する。 コンピュータデータの活用により 各種表簿の作成を効率化する。	(1) 校務支援システムにより指導要録の作成手順を職員に示し、確実に間違いのないシステムを構築する。 コンピュータデータの活用により各種表簿の作成や点検を効率化するためのシステムを構築する。
進路指導部	(1) 高い進路目標の確立と実現に向けての指導。 (2) チームとしての進路指導の推進。	(1) 生徒の進路意識を確立して、を実現させる。基礎学力のさらなる充実をはかる。 (2) 保護者向け進路説明会や保護者会を充実させる、地域との連携を推進する。	(1) 進路行事や担任面接を通して生徒の進路意識を刺激し高い進路目標をもたせる。 (2) 保護者、地域、関係機関との連携を強める。保護者、生徒、教員が情報を十分に共有し指導する。
生徒指導部	(1) いじめ防止対策。 (2) 高校生らしい身だしなみと交通安全意識の向上。	(1) いじめを防止するために、他の分掌と連携を密にして、全職員で取り組む。 (2) 交通モラル及び自転車乗車ルールの遵守を図る。	(1) 学年会の担任面接や教育相談部の「心のアンケート」などを利用して情報の共有を心掛け、協力体制を構築する。 (2) 街頭指導を充実させ、多くの生徒に声をかけるよう、全職員で協力する。
情報研修部	(1) 情報化の推進および教員の資質の向上につながる研修の実施。 (2) 図書館の有効利用と充実。	(1) ホームページを活用しての情報発信を活性化する。 教員の I C T 活用に有効な研修を企画し、実施する。 (2) 図書館報や図書委員会を通じて図書館の魅力を周知させ、蔵書図書を充実する。	(1) 個人情報の扱いに留意しつつ、閲覧者のニーズに合わせた情報を発信する。 セキュリティーに関する研修を実施し、教員の資質の向上をめざす。 (2) 図書館の利用者数、貸出数の増加につながるような工夫を模索する。 生徒の興味・関心のある図書を充実させる。
保健厚生部	(1) 生徒保健委員会活動の活発化 (2) 生徒全体の健康や清掃に対する意識の高揚。 【教育相談・特別支援教育】 (1) 教育相談が必要な生徒の情報の共有化と早期の対応。	(1) エアコン使用時等に教室の換気を徹底させ、インフルエンザ等の予防を図る。 (2) ゴミの分別を徹底させる。 (1) 欠席の多い生徒の情報を収集し、早期に対応する。 相談室の利用を促進する。 スクールカウンセラーとの連携を密にする。	(1) クラス単位での奉仕活動を通して学校全体で環境美化に取り組む。 (2) ゴミ分別を啓発し、日々実践させる。 (1) 教育相談では、欠席数や学校生活の様子から早期に対応する。 スクールカウンセラーや家庭との連絡を密にし、臨機応変に対応する。 生徒の身体的、精神的な状態について教員間の情報共有を図る。

担当	重点目標	具体的方策	留意事項
生活文化科	(1) コース別の特性を活かした魅力ある授業内容の確立。 (2) 地域との連携に重点を置いた、スペシャリストを目指す生徒の育成。	(1) 各コースの特性に応じた実践的・体験的授業の充実を図り、資格取得を目指す。 外部講師による講習会を適切な時期に実施し、より専門的な知識・技術の習得を図る。 (2) キャリア教育に関する取組の拡大を図り、社会で求められる基礎力を身に付ける。 事前・事後指導に力を入れ、キャリア教育の成果に関する発表・討論を実践する。	(1) 資格試験、検定の目標を明確にし、低学年から基礎力の定着を図り、応用へとつなげることで、合格に結び付ける。 同じ講師に複数回講習会を依頼し、より高い学習目標の達成を目指す。 (2) 高大連携事業やインターンシップ活動に積極的に取り組み、コミュニケーション能力・意欲的な態度を養う。 目的を明確にしたインターンシップを充実させ、より専門的な知識・技術を習得するための機会を設ける。
1年学年会	(1) 基本的な生活習慣と規範意識確立。 (2) 学習習慣の確立。	(1) 高校生の本分を中心とした生活習慣を確立し、自己管理能力を育成する。 校則を遵守し、豊丘高校の一員として、落ち着いた学校生活を送らせる。 (2) 予習をして授業に臨み、復習して学習内容を定着させるよう、家庭学習の習慣化を図る。 授業に意欲的に臨み、主体的かつ能動的に学習する態度を身につけさせる。	(1) 基本的な生活習慣を確立するために生活リズムを整え、挨拶や時間厳守の重要性など社会生活の基本を学年会で指導する。 生徒指導部と連携し、日頃の身だしなみや交通ルールの遵守、携帯電話の使用規定など、規範意識の確立に努める。 (2) 学習時間記録簿や個人面接を通して実態把握に努め 教科担任と連携し適切な指導、助言を行う。 準備を整え、予鈴で着席させ本鈴で授業を開始し、授業を充実したものにするよう努める。
2年学年会	(1) 社会人としての基礎力の養成。 (2) 将来を見通し、努力できる人材の育成。	(1) 基本的な生活習慣を確立させる。 授業規律を徹底し、教室環境を整備する。 (2) 進路目標を明確にさせる。 学習習慣を確立し、学力の充実を図る。	(1) 生徒指導部と連携し、遅刻指導や身だしなみ指導、携帯電話使用方法を徹底する。また挨拶や返事などの礼儀もきちんとさせる。 予習・復習を徹底し、授業に集中させ充実したもの にさせる。また清掃活動にきちんと取り組ませる。 (2) 進路指導部と連携し、進路講話や模擬授業を企画し、模擬授業やオープンキャンパスに参加させ、明確な進路目標を持たせる。 各教科と協力してきちんと課題を提出させる。学習 時間を確保をさせ、学力を充実させる。
3年学年会	(1) 社会人としての基礎力の確立。 (2) 個人の能力伸長と進路目標の実現。	(1) 基本的な生活習慣と規範意識を確立させる。 社会性や公共心を育成する (2) 学力を充実させ、進路目標を実現させる。 特別活動に積極的に取り組ませる。	(1) 時間厳守や身だしなみ、挨拶、言葉遣いなど、社会人としての基礎力を確立させる。 係の仕事や清掃活動等への取り組みを通して周囲と協調し、気配りのできる心を養う。 (2) 授業後や土曜学習会、課外や校外模試などを利用して実力を養い、目標実現に向け最後まで諦めずに努力させる。 最高学年として、様々な活動に意欲的、積極的に取り組ませ、学校生活を充実させる。
学校関係者評価を実施する 主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> ・家庭や地域から信頼される学校づくりを目指した方策と実践について ・特色ある学校作りと地域連携について 	